

当たり前のことの大切さを知る

「新年は死んだ人をしのぶためにある、心の優しいものが先に死ぬのはなぜか、おのれだけが生き残っているのはなぜかと問うためだ」おおみそかに、いつもこの詩を思い出す。中桐雅夫の「きのうはあすに」である。詩を思い出し、阪神大震災の記録を、また読み返してみる。これまでにわかっているだけで、死者は六千三百八人にもおよぶ。

夫も妻も、下敷きになった。手を握りあって、助けを待った。夫の声が、聞こえた。「おれは駄目かもしれへん。子どもたちを頼むー」「いい人がいたら一緒になれよー。三途の川を渡るなよー」。救助されたが、夫は死亡。四十一歳。がれきの山の中から、三歳の娘の泣きじゃくる声がした。かぶさるように、「パパがもうすぐ助けるよ」と、三十三歳の父親の声がした。救出活動をしていた人が、娘を抱きかかえている父親の姿を、すき間から確認した。やがて、父親の声が絶えた。娘も、病院に運ばれる途中、亡くなった。最初の揺れが去ったあと、いくつもの地区が、火に包まれた。七十三歳の父親が、下半身をがれきに挟まれていた。子どもたちが両手を思いっきり引っ張った。炎が迫った。父親はおだかやに、言った。「もう行け、もう行け」かわいがっていた孫を失った八十一歳の女性は、以来薬をのまなくなった。孫の葬儀後、急速に衰弱した。「足手まといになって悪いな」ともらした。地震のあと、半月足らずで、孫のあとを追った。

だれもが心優しい人たちだった。果てしない記録を読み、そして、亡くなった人たちのために自分はなにをしたか、これから自分はなにができるか、と問うてみる。詩は、こう結ばれる。

「きょうはきのうに、きのうはあすになる、どんな小さなものでも、眼の前のものを愛したくなる、でなければ、どうしてこの一年を生きていける？」

朝日新聞「天声人語」

阪神大震災が起こったのは平成7年1月17日、引用した記事はその年の暮れに掲載されたもので、私は強烈な印象をもってこの文章を読みました。その後クラスの生徒や全校生徒に紹介するようになり、昨年も学校便りに載せています。

災害だけでなく事故や病気など、人の人生を一瞬にして奪ってしまうものは数多くあります。少し立ち止まってみると、私たちがこうやって日々当たり前で暮らしていることはとても貴重なものであることを再確認して感謝の気持ちを思い出します。そしてその気持ちこそが、未来を作る大きな力になるということなのでしょう。

*

*

さて、生徒のみなさんには始業式でも話しましたが、3学期は当たり前のことをしっかりやり遂げることに心を向けてください。清掃活動やチャイム着席、そしてあいさつ、一日一日を大切に一つひとつ確実に実践していきましょう。特に3年生は中学校で身につける「じりつ」は立派にやり遂げてほしいです。

日本には四季があり、「冬」は一見すると植物も枝だけになってもの寂しげですが、春に芽を出すために備えて、内なる活動をしている季節です。3学期はその時期にあたり、寒々としていて地味な季節に見えますが、この時期がなければ次の春はやってきません。この冬をどう過ごすかで春の様子も変わってくるのです。ふんばれ3年生！がんばれ中学生！

(校長 西田敦子)

平成30年度 2月・3月 行事予定
 (現在未確定のものがあります。また、変更になることがあります。)

| | | 2月 | PTA・地域 | 給食 | | | 3月 | PTA・地域 | 給食 |
|----|---|------------------------------|---------------|------------|----|---|-----------------------------|-------------|----------|
| 1 | 金 | 新入生保護者説明会 | | ○ | 1 | 金 | 公立高校一般入学者選拔出願 | PTA 決算総会 | 3年 なし |
| 2 | 土 | ***** | | | 2 | 土 | ***** | | |
| 3 | 日 | ***** | | | 3 | 日 | ***** | | |
| 4 | 月 | ①火5 | | ○ | 4 | 月 | ①木3 | | ○ |
| 5 | 火 | | | ○ | 5 | 火 | 3年生学級文庫返却 | | ○ |
| 6 | 水 | 45分×6限 ⑥火6 生徒委員会④→生徒会代表者会 | | ○ | 6 | 水 | | | ○ |
| 7 | 木 | | | ○ | 7 | 木 | 3年生を送る会 | 花いっぱい 運動 | ○ |
| 8 | 金 | 学級文庫返却 | PTA運営委員会 | ○ | 8 | 金 | 5、6限:2年生卒業式ステージ設営 | | ○ |
| 9 | 土 | ***** | | | 9 | 土 | ***** | | |
| 10 | 日 | 私学入試***** | | | 10 | 日 | ***** | | |
| 11 | 月 | 建国記念の日 私学入試***** | | | 11 | 月 | 45分×4限 ①木4 公立高校一般入学者選拔出願 | | 3年 なし |
| 12 | 火 | 学級文庫選書 | 英検学習会 (二次) | ○ | 12 | 火 | 3年卒業式練習 | | ○ |
| 13 | 水 | 公立高校特別入学者選拔出願 クラブ停止(~21日) | テスト前学習会 | ○ | 13 | 水 | 卒業式予行 ⑤2年生卒業式会場準備 | | ○ |
| 14 | 木 | ⑥特別時間割 | テスト前学習会 | ○ | 14 | 木 | 第42回卒業証書授与式 | | × |
| 15 | 金 | | テスト前学習会 | ○ | 15 | 金 | 短縮・二者懇談 | | 3年 なし |
| 16 | 土 | ***** | | | 16 | 土 | ***** | | |
| 17 | 日 | ***** | | | 17 | 日 | ***** | | |
| 18 | 月 | 45分×6限 ①木1 3年生進路懇談(~22日) | テスト前学習会 | ○ | 18 | 月 | 短縮・二者懇談 | | 3年 なし |
| 19 | 火 | 45分×6限 公立高校特別入学者選拔出願 | テスト前学習会 | ○ | 19 | 火 | 短縮・二者懇談 | 献立作成部会 | 3年 なし |
| 20 | 水 | 1、2年学年末考査 | | 1、2年 なし | 20 | 水 | 短縮・二者懇談 | | 3年 なし |
| 21 | 木 | 1、2年学年末考査 ⑥3年生特別時間割 | | 1、2年 なし | 21 | 木 | 春分の日***** | | |
| 22 | 金 | 1、2年学年末考査 クラブ再登校15:30~ | | 1、2年 なし | 22 | 金 | 修了式 | | × |
| 23 | 土 | ***** | | | 23 | 土 | ***** | | |
| 24 | 日 | ***** | | | 24 | 日 | ***** | | |
| 25 | 月 | ①木2 | | ○ | 25 | 月 | | | |
| 26 | 火 | 45分×6限 生徒委員会(総括)→生徒会代表者会 | | ○ | 26 | 火 | | | |
| 27 | 水 | | | ○ | 27 | 水 | | | |
| 28 | 木 | ⑥水5 | 献立作成部会 | ○ | 28 | 木 | | | |
| | | | | | 29 | 金 | | | |
| | | | | | 30 | 土 | ***** | | |
| | | | | | 31 | 日 | ***** | | |

登下校見守り 1月15日(火)～18日(金)

「交通安全」「時間厳守」そして「元気なあいさつ」の啓発に、正門、裏門付近で見守り活動を行いました。16日・17日には、PTA校区委員の方々にも応援をいただきました。

みんなは元気よく‘自分から’あいさつできていますか。先日地域の方から、部活動で走っている生徒から気持ちのいいあいさつがあつて嬉しかったと電話がありました！「おはよう。」「こんにちは。」の一言でも実際に声に出して相手に言うと、思う以上に自分も相手も明るい気持ちや嬉しい気持ちになるものです。みんなのあいさつで、二中也地域もさらに明るく優しい雰囲気にしていってほしいと思います。



震災道徳 ～あの日の記憶を伝える～ 1月16日(水)

阪神淡路大震災が発生した時期に合わせ、毎年道徳の授業で、震災に関する教材を使用して「命の大切さ」などを考える機会を設けています。今年は、1年生は「語りかける目」、2年生は「震災の中で」、3年生は「命、今生きていること」の読み物で、登場人物の心情や自分自身の考えなどをまとめ、互いに交流しました。一人ひとりが震災について、自分の事として捉え、自らの命と防災について考えました。

PTAハーバリウム講習会 (1月24日)

「ハーバリウム」とは植物などを特殊なオイルに保存し観賞を楽しむ植物標本のことです。この度は、日本ハーバリウム協会認定講師の小牧圭子さんを講師としてお招きし開催しました。

講師の先生から丁寧な説明をうけながら、参加者(保護者と教員)は細かな作業に真剣に取り組み、完成後はそれぞれの作品を鑑賞しあいました。コミュニケーションもはずみ、すてきな作品と穏やかな時間がお土産となりました。



学校説明会 (1月29日)

今年度2回目となる学校説明会、今回は主として次年度の行事計画や学校の現状についての説明を、2月1日の新入生保護者説明会に先駆けて行いました。学校教育自己診断の分析から、学校の取組内容をもっとお伝えしていく必要があると考えており、在校生の保護者のみなさまに直接学校の取組を発信する機会と位置づけて実施しています。当日は、約60名の保護者に参加いただきました。

(30日に要点録を配布しております。)



小中一貫教育推進「つなギングスクール」(1月31日)

島本町が進める小中一貫教育の取組の一つとして、校区の小学6年生が本校に来校、中学校の先生の授業や部活動を体験しました。中学校入学への不安感を減らし、中学校生活をイメージしてもらうことをねらいとして毎年実施しているものです。

中学1年生・2年生にとっても、先輩としての姿を見せる機会ともなり、それぞれに緊張感と期待感の溢れる時間を過ごしました。



「キャリア教育」に力をいれています ～中学卒業後の進路は・・・～

3年生は、3年間の集大成として中学校卒業後の進路を見据え、残り少なくなった中学校生活を悔いのないよう過ごしています。今月には私学入試、府立高校特別選抜、来月卒業式前には、府立高校一般選抜が行われ、それぞれの進路を確定させます。そんな3年生の姿は、2年生・1年生にとって来年・再来年の自分の姿として写ることでしょう。3年生になって慌てて自分の進路について考えるのではなく、また、これから将来にわたって自らの生き方について主体的に考え、行動する力を身に付けるための「キャリア教育」を、それぞれの学年段階に応じた内容で取り組んでいます。この時期は「中学校卒業後の進路」に焦点をあてて実施しています。

1年生：卒業後の進路として、高等学校以外にも就職や専修学校といった進路があること、また、高等学校の選抜試験においては、中学校1年生の成績も判定材料になることなど学びました。

2年生：高等学校進学を希望して受験校を選ぶ際、どんなことを大切に学校を選ぶか、「ダイヤモンドランキング」という手法を用い、自分の考えを交流しました。今後は、実際に府立高校の入学選抜に使用される「自己申告書」を、自分が受験すると仮定して作成していきます。

生徒会活動～生徒一人ひとりが生徒会員として、ぼぼたける学校～

生徒による様々な自治活動を展開しています。

○生活環境委員会：「清掃は、自分自身の心をみがく運動～見た目も中身も最高にきれいな学校にしよう～」を目標に、全員が清掃に取り組んでいるかななどを点検しました。また、「チャイム着席チェック」も1・2年生期末考査前日まで取り組みます。

○保健給食委員会：「昼の換気放送」「給食当番チェック」「ポスター作成」など給食を残さず健康に過ごせる学校をめざして活動しました。特にこの時期は、インフルエンザの流行期。3月上旬まで「昼の換気放送」を続けます。



「おめでとう」～部活動等の活躍～

水泳部：第29回茨木・三島地区中学校 水泳部駅伝大会(1/19) 男子マラソンの部
優勝 2-2 内藤 俊介